

宝塚歌劇と東宝を創った男

KOBAYASHI  
ICHIZO

150<sup>th</sup>

ANNIVERSARY

小林一三  
生誕一五〇年展

— 東京で大活躍 —

期間 | 10月7日(土)~11月5日(日)

場所 | 日比谷シャンテ3F

入場無料

時間 | 11:00 ~ 20:00

主催:東宝株式会社 阪急阪神ホールディングス株式会社 阪急電鉄株式会社 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社  
協力:公益財団法人阪急文化財団

阪急阪神東宝グループの創業者





# 小林一三が生涯追い求めた理想とは？

## 「清く、正しく、美しく」

宝塚歌劇、東宝をはじめ、現代の私たちの暮らしを彩る数々のエンタテインメントや郊外住宅開発、ターミナル百貨店など、鉄道を軸にした沿線開発モデルを生み出した小林一三。その背景には、変化を恐れず失敗をチャンスに変える、偉大な経営者としての信念があった。彼が追い求めた理想とは——。事業成功の秘訣とは——。

宝塚歌劇のミニステージや、彼がシリーズ化を後押ししたゴジラ（初代）の展示とともに、朗らかな日本社会を作り出そうとした、阪急阪神東宝グループの創業者の東京での活躍を紹介する。

### PROFILE

小林一三は、1873（明治6）年、現在の山梨県韮崎市に生まれました。「一三」の名は、誕生日1月3日に因みます。19歳の時に慶應義塾を卒業し、三井銀行で本店勤務の後、大阪支店に赴任しました。元来、文学青年で小説家志望であった一三ですが、銀行員時代の先輩達との出会いから事業の面白さに目覚めます。この後、阪急電車・宝塚歌劇・阪急百貨店・そして東宝と、現代の豊かな社会を形作る様々なビジネスを創始していきました。



原節子ほか東宝俳優女優・宝塚歌劇団生徒による外遊見送りの様子



河内桃子、三船敏郎による小林一三郎訪問の様子

# 150TH ANNIVERSARY

# TOHO



# ICHIZO KOBAYASHI

## 展示紹介

100のエピソードや名言でつづる一三の東京での活躍に関する展示多数！

**POINT**  
宝塚歌劇のミニステージ  
フォトスポット登場！  
※画像はイメージです



**POINT**  
初代ゴジラが昭和の日比谷に登場!?



一緒に写真が撮れる

告知の内容は予定となっております。実際の内容とは異なる場合がございます。

## 宝塚歌劇団

鉄道の旅客誘致の一環として誕生した「宝塚新温泉」の室内プールを改造し、1914年に宝塚少女歌劇の第1回公演を行いました。当初は小林一三も脚本を手掛け、1917年には自作の宝塚少女歌劇脚本を集めた「歌劇十曲」を刊行しています。宝塚歌劇を「老若男女誰もが楽しめる国民劇」に育てようと、安価な料金で観覧できる「大劇場主義」を唱えました。



## 東宝

1932年に東京宝塚劇場を設立し、映画事業にも進出します。1943年、東宝映画株式会社と東京宝塚劇場を合併し、東宝株式会社が設立されました。小林一三社長のもと、1954年には黒澤明監督の『七人の侍』やゴジラシリーズ第1作『ゴジラ』が製作され、今もなお人気を博しています。



## 日比谷

宝塚少女歌劇を東京に進出させたのち、日比谷を本拠地とすべく劇場街の建設にとりかかりました。1934年に東京宝塚劇場と日比谷映画劇場、1935年には有楽座と日本劇場を完成させ、また1937年には帝国劇場を買収するなど、日比谷をエンタテインメントの街にすべく、事業を進めていきました。



表の写真 左上から日比谷映画劇場、日本劇場、ゴジラ、東京宝塚劇場、宝塚歌劇公演チケット、阪急百貨店（梅田阪急ビル）、第一ホテル、左下から「モン・パリー」、古川録波、「花詩集」、阪急電車（真面有馬電気軌道1形） © TOHO CO., LTD.

日比谷シャンテ 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-2-2

電車でお越しの方

- JR山手線「有楽町駅」日比谷口より徒歩5分
- 東京メトロ千代田線「日比谷駅」徒歩2分 \*A11出口直結
- 東京メトロ有楽町線「有楽町駅」より徒歩6分
- 東京メトロ日比谷線「日比谷駅」徒歩2分 \*東京ミッドタウン日比谷連絡口直結
- 東京メトロ銀座線・丸の内線「銀座駅」C1出口より徒歩5分
- 都営地下鉄三田線「日比谷駅」徒歩6分 \*A11出口/東京ミッドタウン日比谷連絡口直結

展示に関する最新情報は  
こちら

